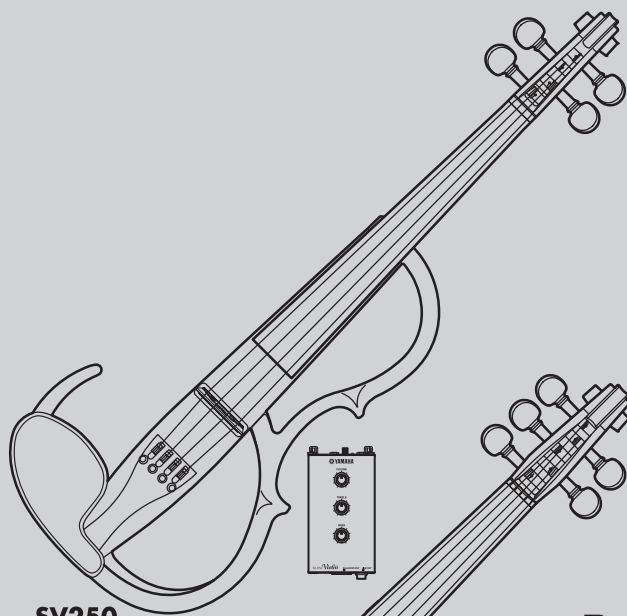


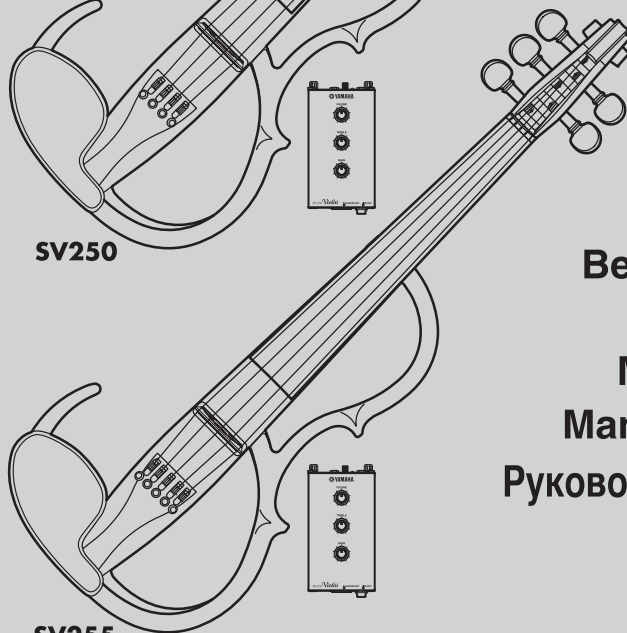


# SILENT *Violin*<sup>TM</sup>

## SV250/SV255



SV250



SV255

取扱説明書

Owner's Manual

Bedienungsanleitung

Mode d'emploi

Manuale dell'utente

Manual del propietario

Руководство пользователя

使用手册

사용설명서

日本語

English

Deutsch

Français

Italiano

Español

Русский

中文

한국어

# ごあいさつ

このたびはヤマハサイレントバイオリン™をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。サイレントバイオリン™の機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。なお、ご一読いただいた後も、不明な点が生じた場合に備えて、保証書と共に大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

## ■ SV250/SV255 の特長

サイレントバイオリン™ SV250/SV255 は、ステージユースやスタジオワークを想定した高音質な電気バイオリンです。

スプラースとメイブルの組み合わせによるボディは、従来のサイレントバイオリン™と同様にスリムな形状ながら、独自のホロー構造とすることにより、アコースティックな響きと演奏感を実現しています。

ピックアップは楽器全体の響きを豊かに再現する駒下設置型ピエゾピックアップに加えて、駒内蔵型で弓による表現をよりの確に再現する新開発ピエゾピックアップを追加し、2つのピックアップを自由にブレンドすることにより多彩な音作りが可能です。付属の専用コントロールボックスは頑丈なアルミ合金製ボディで、床置き、ベルトクリップによる衣服等への装着共に可能な設計となっています。楽器本体プリアンプへの電源供給からバイオリンの音域に合わせ最適化したイコライザーによる音質調整、独立した音量調整ができるヘッドホンモニターアンプも搭載し、電源は状況に応じて単3乾電池2本、電源アダプター、ファンタム電源の3種類から得られるようになっています。

また、通常のモノラルラインアウトの他にXLRコネクターからのバランスアウト出力も併設しているため、外部ノイズに強いバランス伝送でミキシングコンソールへ直接信号を送ることが可能です。これらの機能により、2つのアウトプットをエフェクターへアンプ、ミキサーへ同時に接続したり、オーディオインターフェイス経由でDAWへ録音したりといった作業が手軽に行なえます。

高品位な木部構造・仕上げ、バイオリンに最適化したアナログ回路、多彩なアウトプット類によって、練習はもとよりステージやレコーディングにおいても、満足できる音質と演奏性、操作性を提供いたします。

## 音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を充分にいたしましょう。

静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬ所で迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのもひとつの方法です。

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

## 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、




お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お子様がご使用になる場合は、保護者の方が以下の内容をお子様にご徹底くださいますようお願いいたします。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。



### ■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、下表のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

### ■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

## 警告

### 分解禁止



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または別紙のご相談窓口にご依頼ください。

### 水に注意



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。

感電や火災、または故障の原因になります。

### 異常に気づいたら



使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源アダプターのプラグをコンセントから抜く。(電池を使用している場合は、電池を本体から抜く。)

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または別紙のご相談窓口にご依頼ください。

### 電源 / 電源アダプター



電源アダプターは必ず交流 100V に接続する。エアコンの電源など交流 200V のものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



電源アダプターは、指定のものを使用する。  
(異なった電源アダプターを使用すると) 故障、発火などの原因になります。



濡れた手で電源アダプターのプラグを抜き差ししない。


感電のおそれがあります。お手入れをする際は、必ず電源アダプターのプラグをコンセントから抜いてください。





電源アダプターのプラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに乾拭きする。  
感電やショートのおそれがあります。


## 注意

### 電源 / 電源アダプター

 電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。


 タコ足配線をしない。コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。


 電源アダプターコードやプラグがいたんだときは使用しない。また、長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。感電、ショート、発火などの原因になります。


 電源アダプターのプラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源アダプターのプラグを持って引き抜く。電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。


### 電池


 指定以外の電池を使用しない。火災、発熱、液漏れの原因になります。


 使い切りタイプの電池は、充電しない。充電すると液漏れや破裂の原因になります。


 乾電池が液漏れした場合は、漏れた液に触れない。万一、液が目や口に入ったり皮膚に付いたりした場合は、すぐに水で洗い流し、医師に相談する。失明や化学やけどなどのおそれがあります。


 電池は一度に全部を交換する。電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの（アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど）を一緒に使用しない。発熱、発火、液漏れの原因になります。


 電池は乳幼児の手の届く所に保管しない。口に入れたりすると危険です。


 電池を分解しない。電池の中のものに触れたり目に入ったりすると、化学やけどや失明のおそれがあります。

 電池を火の中に入れない。破裂するおそれがあります。


 電池を金属製のネックレスやヘアピン、コイン、鍵などと一緒に持ち運んだり、保管しない。電池がショートし、発熱、破裂、火災のおそれがあります。

 電池はすべて＋／－の極性通りに正しく入れる。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れの原因になります。


 長時間使用しない場合や電池を使い切った場合は、電池を本体から抜いておく。電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。


 使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。


### 接続


 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小 (0) にする。感電または機器の損傷のおそれがあります。

### 運搬 / 設置


 直射日光のあたる場所（日中の車内など）やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。


 テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。デジタル回路を使用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。


 不安定な場所に立てない。機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。


 本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。


### 取り扱い

 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。本体が変色 / 変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。本体が破損する原因になります。

 大きな音量で長時間ヘッドフォン（イヤホン）を使用しない。聴覚障害の原因になります。

 弦の先は鋭利になっています。指に刺したりしないように気を付けてください。

 弦の交換や調整の際、顔を楽器に近づけすぎない。不意に弦が切れて目を傷つけるなど、思わぬけがの原因となることがあります。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証は致しかねます。

長時間使用しないときは、必ず電源を切りましょう。

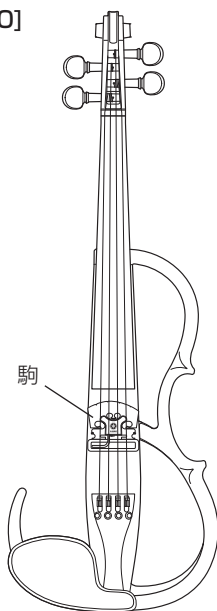
# 本体 / 付属品

パッケージを開けたら、本体および付属品を確認してください。

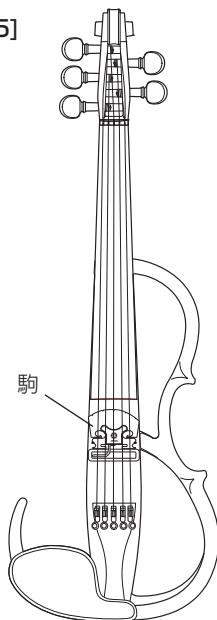
● 楽器本体 × 1

(駒は出荷時に倒した状態で梱包されています。)

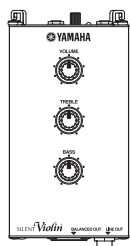
[SV250]



[SV255]

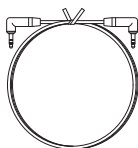


● 専用コントロールボックス × 1



● 接続ケーブル × 1

(楽器本体とコントロールボックスとの接続に使用します。)



● ケーブルバンド × 2

(楽器本体に接続ケーブルを留めるために使用します。)



● ステレオインナーフォン × 1



● 取扱説明書 (本書) × 1

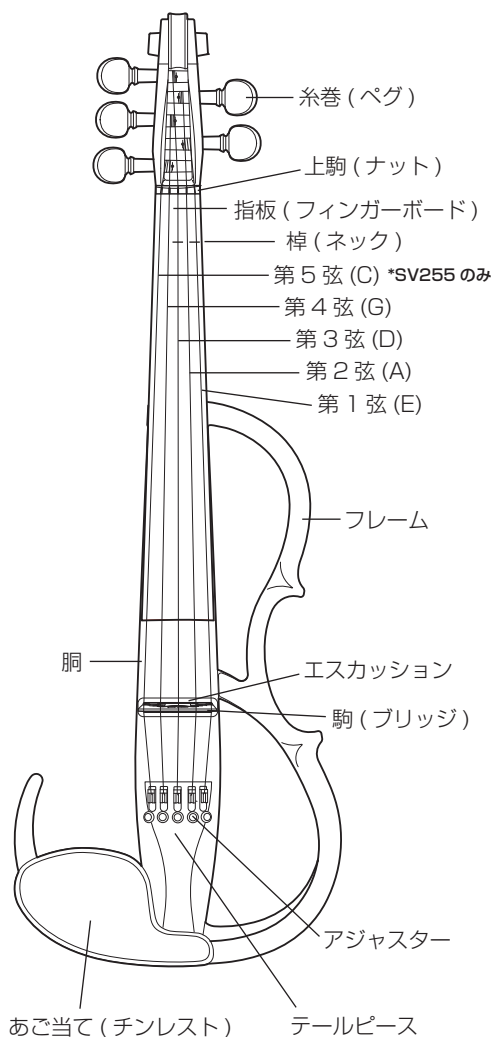
※ 電源アダプターをご使用の場合は、別売のヤマハ電源アダプター (16 ページ参照) をお買い求めください。

※ 乾電池でご使用になる場合は、単 3 乾電池が必要です。

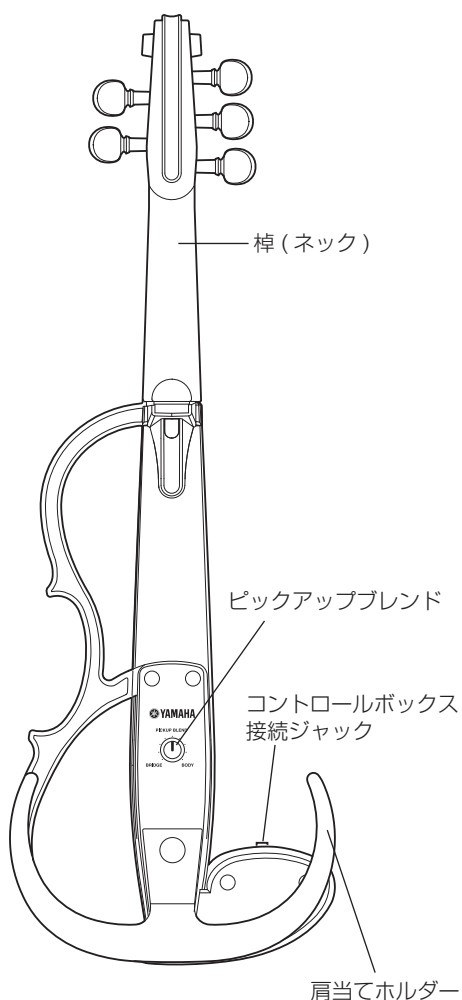
# 本体各部の名称

## [楽器本体]

### ● フロント部



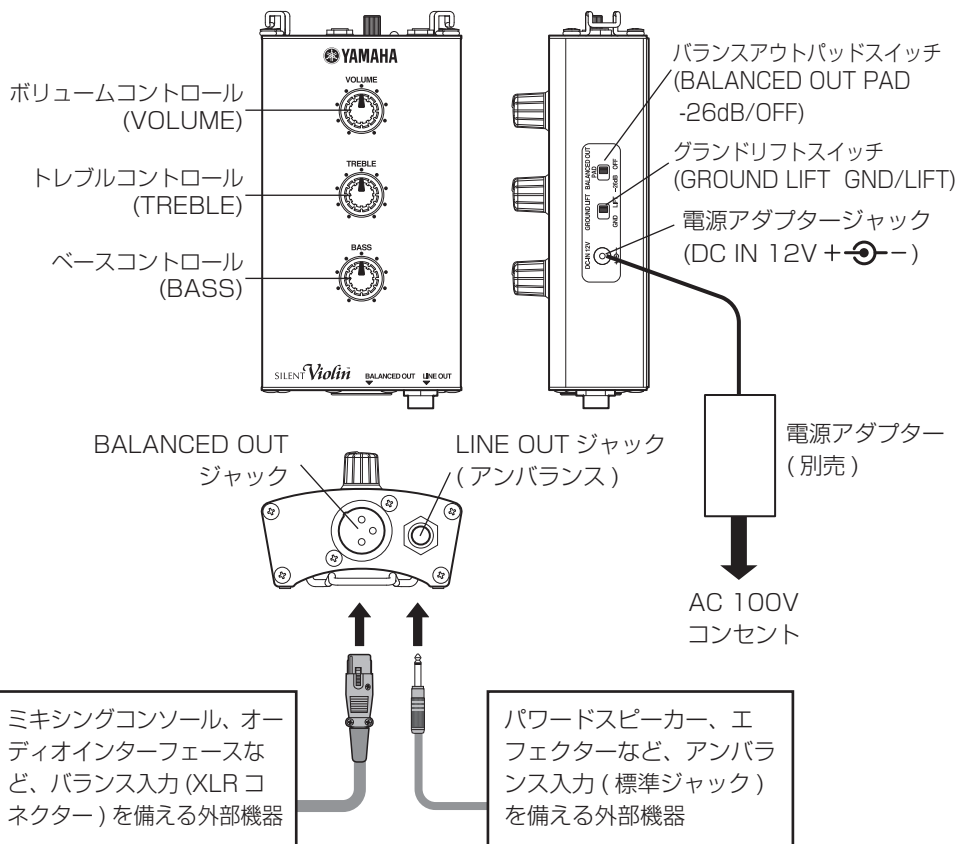
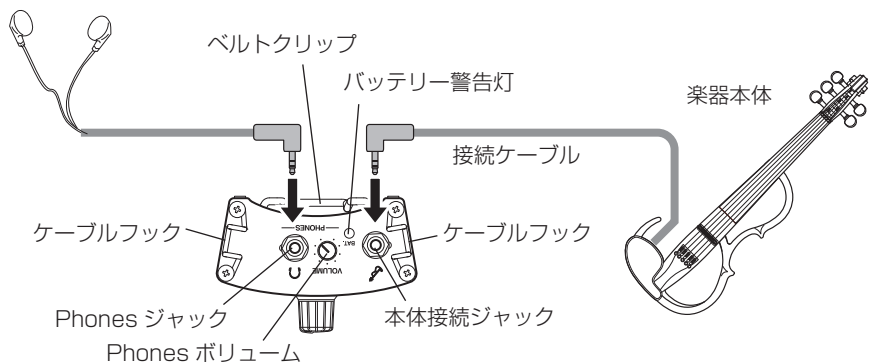
### ● リア部



イラストは SV255 です。

**【コントロールボックス】 ※ SV250 および SV255 専用です。  
他の楽器にはご使用になれません。**

ステレオインナーフォン



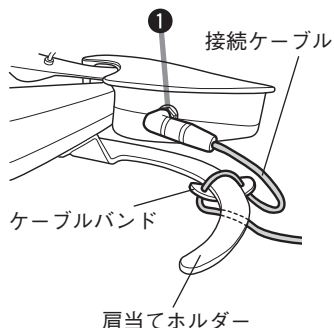
## 【入出力部の説明】

### ＜楽器本体側＞

#### ① コントロールボックス接続ジャック

コントロールボックスから電源の供給を受け、音声信号を出力するジャックです。付属の接続ケーブルを使用して、コントロールボックスの“楽器本体接続ジャック”と接続します。

- ※ 市販のケーブルで、両端がステレオミニプラグのものを也可以使用することもできます。(抵抗入りタイプは使用できません)
- ※ モノラルケーブルを使用しても正常に動作しません。
- ※ 付属の専用コントロールボックス以外に接続しても正常に動作しません。
- ※ 付属のケーブルバンドを接続ケーブルに通して、右図のように楽器本体の肩当てホルダー部に装着することにより、不用意に接続ケーブルが抜けてしまうことを防止します。



注意！

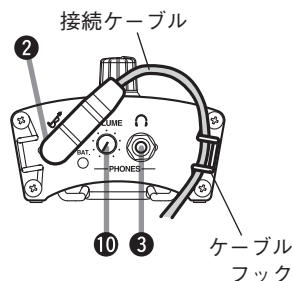
- ・電源が入った状態で接続コードが抜けると、機器が破損するおそれがあります。音圧の衝撃等による耳への影響も大きいのでご注意ください。
- ・ケーブルの抜き挿しは、コントロールボックスに外部機器が接続されていない状態、または接続されている機器の電源を切った状態で行なってください。大音量により聴覚障害を起こしたり、外部接続機器を破損するおそれがあります。
- ・ケーブルの抜き挿しは、インナーフォン、ヘッドフォンなどが接続されていない状態で行なってください。大音量により聴覚障害を起こしたり、インナーフォン、ヘッドフォンなどを破損するおそれがあります。

### ＜コントロールボックス側＞

#### ② 楽器本体接続ジャック (🔧)

サイレントバイオリン™楽器本体へ電源を供給し、楽器からの音声信号を入力するジャックです。付属の接続ケーブルを使用して、楽器本体の“コントロールボックス接続ジャック”と接続します。

- ※ このジャックにケーブルが接続されるとコントロールボックスのメイン電源が ON になります。
- ※ 右図のように、ジャックと離れた位置にあるケーブルフックに接続ケーブルを引っ掛けることにより、不用意に接続ケーブルが抜けてしまうことを防止します。



注意！

- ・ご使用にならない時はケーブルを外してください。ケーブルが接続されている間は電力を消費し続けます。
- ・ケーブルの抜き挿しは、コントロールボックスに外部機器が接続されていない状態、または接続されている機器の電源を切った状態で行なってください。大音量により聴覚障害を起こしたり、外部接続機器を破損するおそれがあります。
- ・ケーブルの抜き挿しは、インナーフォン、ヘッドフォンなどが接続されていない状態で行なってください。大音量により聴覚障害を起こしたり、インナーフォン、ヘッドフォンなどを破損するおそれがあります。



- ・ 同梱されているサイレントバイオリン™ SV250 および SV255 以外の機器（他品種のサイレントバイオリン™も含む）は絶対に接続しないでください。接続すると相手の機器を損傷するおそれがあります。

### ③ PHONES ジャック (🔊)

付属のステレオインナーフォンを接続します。

※このジャックにステレオインナーフォンが接続されると、ヘッドフォンアンプの電源が ON になります。

※PHONES ジャックに接続されたステレオインナーフォン等の音量は、隣接する PHONES VOLUME ⑩ で調整できます。メインの VOLUME とは連動していないため、LINE OUT の音量と独立して調整することが可能です。

※市販のヘッドフォン、インナーフォンもご使用になれます。



- ・ ヘッドフォン、インナーフォンをご使用にならない時はケーブルを外してください。ケーブルが接続されている間は電力を消費し続けます。また、メイン電源が ON で、このジャックに何も接続されていない時は、ヘッドフォンアンプが動作していないため、消費電力が少なく、電池の寿命が長くなります。
- ・ ヘッドフォン、インナーフォンの抜き差しは、インナーフォン、ヘッドフォンなどを耳に装着していない状態で行なってください。大音量により聴覚障害を起こすおそれがあります。
- ・ 大きな音量で長時間インナーフォン、ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

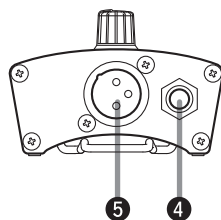
### ④ LINE OUT ジャック (アンバランス)

標準フォーンプラグ対応のラインアウト出力ジャックです。ボリューム、トレブル、ベースを調整後の信号が出力されます。

### ⑤ BALANCED OUT ジャック

XLR コネクター対応のバランス出力ジャックです。LINE OUT ジャックと同様の信号（ボリューム、トレブル、ベースを調整後の信号）がバランス出力されます。

側面にある BALANCED OUT PAD スイッチにより、信号出力を 26dB 減衰させることができます。



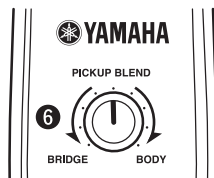
- ・ LINE OUT ジャックまたは BALANCED OUT ジャックと外部機器の接続は、すべての機器の電源を切るか、音量を最小にした状態で接続してください。大音量により聴覚障害を起こしたり、機器を破損するおそれがあります。
- ・ 外部機器と接続する際は、接続端子の形状を確認し、必ず端子の規格に合ったプラグのケーブルを用い、確実に接続してください。
- ・ 音が歪む場合は、コントロールボックスのボリュームを音が歪まなくなるまで下げてご使用ください。

## [操作部の説明]

### <楽器本体側>

#### ⑥ ピックアップブレンドコントロール (PICKUP BLEND)

内蔵される2つのピックアップの音量バランスを調整します。  
右側『BODY』の方いっぱいに戻すと、楽器全体の響きを豊かに再現する駒下設置型ピックアップの音のみを出力します。左側『BRIDGE』の方いっぱいに戻すと、弓による表現をよりの確に再現し、立ち上がりの速いレスポンスを実現する駒内蔵型ピックアップの音のみを出力します。中間位置では2つのピックアップをブレンドした音が出力されます。



※ 楽器本体側では音量調整はできません。コントロールボックス側のボリュームにて調整してください。

### <コントロールボックス側>

#### ⑦ ボリュームコントロール (VOLUME)

LINE OUT ジャック、および BALANCED OUT ジャックへ出力する信号の音量を調整します。  
(Phones ジャックの音量には影響しません)

#### ⑧ トレブルコントロール (TREBLE)

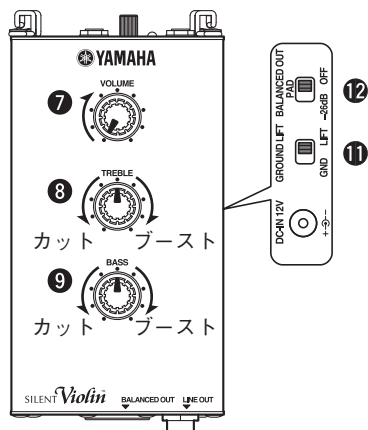
高音域を調整します。(全ての出力に影響します)

#### ⑨ ベースコントロール (BASS)

低音域を調整します。(全ての出力に影響します)

#### ⑩ Phones ボリューム (イラスト: 8 ページ)

Phones ジャックへ出力する信号の音量を調整します。(メインのボリュームコントロールの音量に関係なく音量を設定できます)



※ 電気出力音が歪む場合は、VOLUME 等コントロール類を適当な位置まで絞ってご使用ください。

#### ⑪ グランドリフトスイッチ (GROUND LIFT GND/LIFT)

BALANCED OUT ジャックから XLR コネクターにて外部機器に接続している場合に、本機と外部機器のグラウンドを分離するためのスイッチです。通常は『GND』側で使用してください。グラウンドループ等によるノイズが発生した場合、『LIFT』側に切り替えると、接続機器と本機のグラウンドが分離され、ノイズ対策の手段のひとつとなります。

※ このスイッチが『LIFT』側にある時は、ファンタム電源(12 ページ参照)により本機を駆動することはできません。乾電池または電源アダプターをご用意ください。

#### ⑫ バランスダウトパッドスイッチ (BALANCED OUT PAD -26dB/OFF)

BALANCED OUT ジャックの出力を 26dB 減衰させるスイッチです。

小型ミキシングコンソールなど、XLR コネクターのバランス入力にマイクレベルのみを想定している機器に本機を接続する場合、スイッチを『-26dB』側に設定することにより、マイクレベルに近い出力とすることができます。

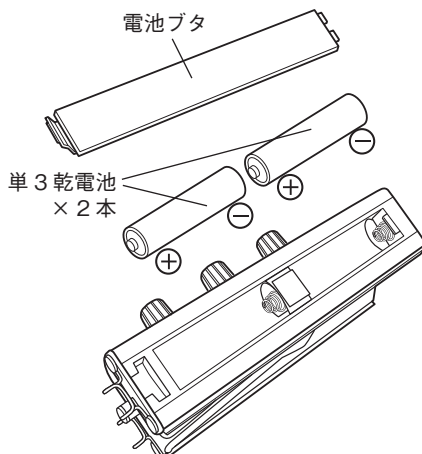
ラインレベルのバランス入力を受け付ける機器に接続する場合は、スイッチを『OFF』側に設定することにより、アンバランスの LINE OUT と同レベルの信号を送ることができます。

# 電源の準備

サイレントバイオリン™ SV250/SV255 は、電源として乾電池と家庭用コンセント、または外部機器から XLR ケーブルを介して送られるファンタム電源の 3 種類に対応しています。電源の準備をする際は、接続する外部機器の電源を切るか、音量を最小にした状態にしてください。

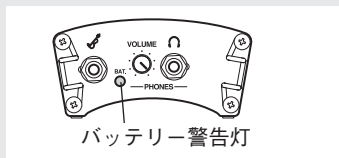
## ■ 乾電池を使うときは

1. コントロールボックス側面にある電池ボタンはずします。
2. 乾電池（単 3 乾電池）を 2 本入れます。  
イラストを参考に、向きを間違えないように入れてください。
3. 電池ボタンを閉めます。



## ■ バッテリー警告灯 (LED) について

コントロールボックスの楽器本体接続ジャック右横にあるバッテリー警告灯は、普段消灯しており、乾電池が消耗してくると、点滅⇒点灯 という動作をします。警告灯が点滅を始めたら、以下のことに注意し、早めに乾電池を新品に交換してください。



注意！

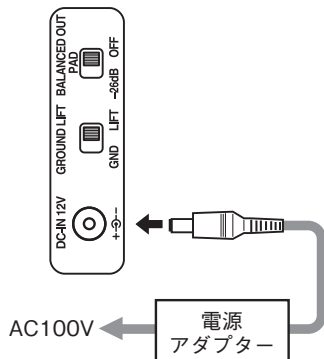
- ・ 乾電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発火するおそれがあります。
- ・ 乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの（アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど）を一緒に使用しないでください。発火する原因になります。
- ・ 長期間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いておいてください。乾電池が消耗し、液漏れにより本体を損傷するおそれがあります。

楽器本体接続ジャックに接続ケーブルを挿した時、乾電池が正常な状態か、電源アダプターが正常に動作している状態であれば、警告灯が 1 回だけ点滅します。（コントロールボックスの仕様上、ファンタム電源のみが供給されている状態では、ケーブル接続時の点滅は行なわれません）

## ■ 家庭用コンセントから電源を取るときは

別売のヤマハ電源アダプター (16 ページ参照) をお買い求めください。

1. 電源アダプターの DC プラグを、コントロールボックス側面の DC IN ジャックに、確実に差し込んでください。
2. 電源アダプターの AC プラグを家庭用 (AC100V) コンセントに差し込みます。



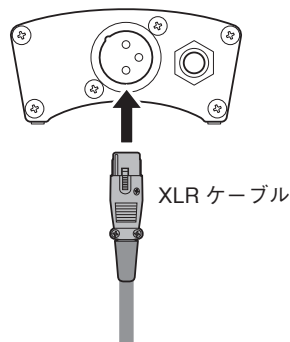
## ■ ファンタム電源を使うときは

1. ファンタム電源 (48V) を供給できるミキサー等の外部機器と本機のバランスアウト端子を XLR ケーブルを介して接続してください。
2. 接続した外部機器側のファンタム電源供給スイッチを ON にします。

※ ファンタム電源は供給できる電流に制限があり本機のヘッドフォンアンプを駆動することができないため、ファンタム電源により本機を動作させている状態では PHONES ジャックへのインナーフォン等の接続有無にかかわらず、LINE OUT ジャックおよび BALANCED OUT ジャック出力用アンプのみの動作となります。(PHONES ジャックからは出力されません)

※ ファンタム電源と電源アダプターの双方から電源供給を受けている場合は、電源アダプターの電源が優先されるためヘッドフォンアンプの駆動が可能となります。

※ 本機がどの電源を使用するかの優先順位は、『電源アダプター』 > 『ファンタム電源』 > 『乾電池』 となっており、電源アダプターまたはファンタム電源から電力が供給されている状態では乾電池は消費されません。



ファンタム電源の供給が可能な外部機器へ

# 演奏準備

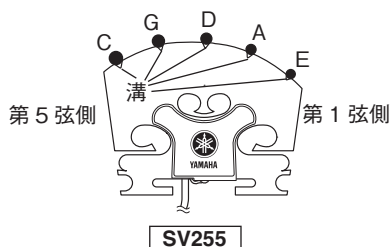
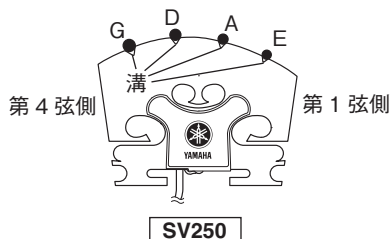
## ■ 調弦および弦の交換について

本機の駒はセンサー内蔵タイプのため、駒と本体は細いケーブルで接続されています。そのため、出荷時、駒は倒した状態で梱包されています。まず駒を本体に正しく設置してから、調弦してください。また、弦は古くなると音質が劣化し、調弦しても音程が合わなくなります。弦が古くなったと感じたら、早めに新しい弦に交換しましょう。

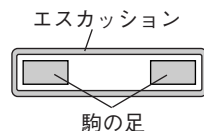


- ・ 弦の先は鋭利になっています。指に刺したりしないように気を付けてください。
- ・ 弦の交換や調整の際、顔を楽器に近づけすぎないようにしてください。不意に弦が切れて目を傷つけるなど、思わぬけがの原因となることがあります。

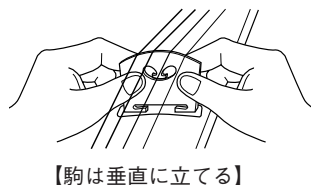
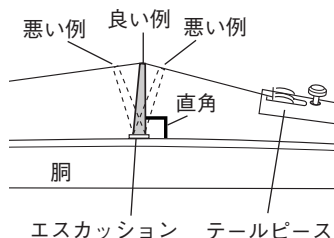
- 駒は上部の山が低い方が第1弦(E)側、高い方が第4弦(G)側 / 第5弦(C)側です。向きに注意し、駒の足がエスカッションの側面に触れない位置に、駒を設置してください。
- 駒は胴に対して垂直に立ててください。傾いている場合は両手でそっと起こしてください。また、それぞれの弦が駒の溝に収まっていることを確認してください。



【テールピース側から見た図】



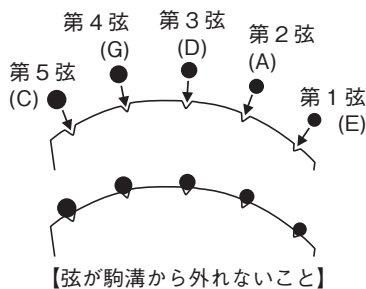
【駒が接触しないように設置】



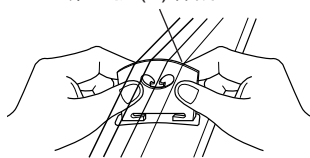
## 重要！

弦は必ず駒の弦溝にしっかりと収まった状態でお使いください。

駒を立てる際や弦を交換する際、弦が弦溝から外れる場合があります。特に第1弦(E)と第4弦(G)/第5弦(C)は外れやすいので、駒上の弦を指で軽く押さえながら調弦してください。また、第1弦(E)には保護チューブが付いています。このチューブを必ず駒の上にのせてください。



第1弦(E)保護チューブ

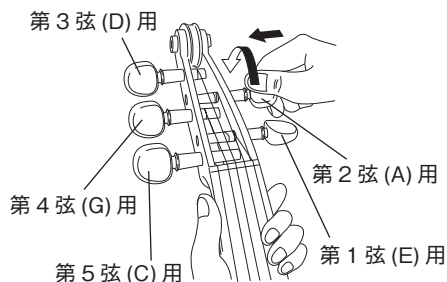


駒は演奏時、保管時間問わず、常に胴に対して垂直に立てておきます。(13ページの図を参照)  
駒は調弦前にきちんと垂直に立てても、調弦をしている間に傾いてしまう場合があります。また、保管中に傾いてしまう場合もあります。これらの場合は、再度垂直に立つように調整してください。

- 調弦は、第1弦がE音、第2弦がA音、第3弦がD音、第4弦がG音、第5弦がC音(SV255のみ)です。

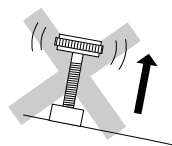
ピアノや音叉、外部のチューナーなどを使い、糸巻を押し込みながら回してチューニングしてください。

- 最後にアジャスターを回して微調整します。



SV255

**注意！** アジャスターのネジ部がゆるみすぎると、演奏時の雑音の原因になります。

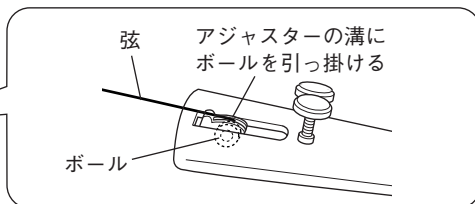
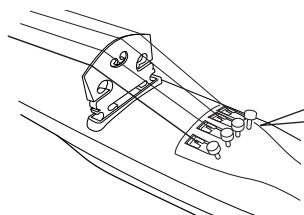
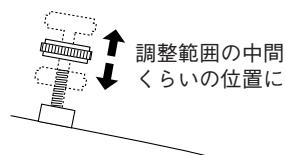


ゆるめすぎないこと

- 楽器を長期間使用しない場合は、弦を少しゆるめて保管してください。
- 駒は常に本体に対して垂直に立った状態であることを確認した上でお使いください。傾いた状態で使用すると、駒の寿命を縮めたり音質劣化の原因となります。

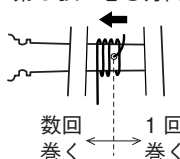
## ● 弦の巻き方（弦交換の際、ご参照ください）

1. 弦を取り付ける前に、アジャスターを調整範囲の中間くらいの位置まで回しておきます。（全弦とも）
2. 弦の端のボールをアジャスターに引っ掛けます。この時、アジャスターの溝にボールを確実に収めてください。

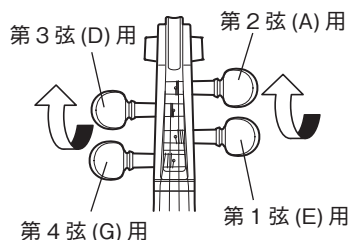
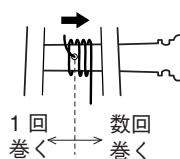


3. 弦を糸巻きの穴に通したら、糸巻きを回し、右図のように穴の片側に1回巻いてから穴のもう一方の側に巻いていきます。

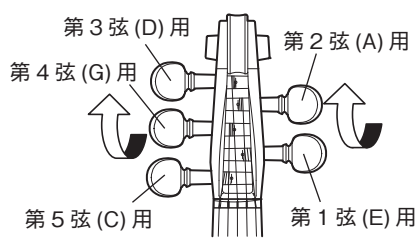
第3弦、第4弦、  
第5弦の巻き方向



第1弦、第2弦の  
弦の巻き方向



SV250

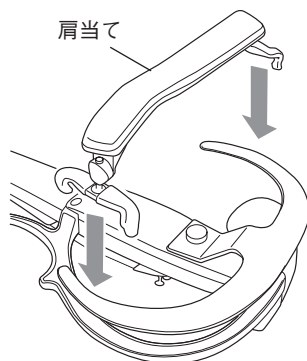


SV255

## ■ 肩当てについて

本機には、市販のバイオリン(4/4)用肩当てを取り付けることができます。

※ 一部適合しないものもございます(エアクッション型など)。




# 製品仕様

## ■楽器本体部

棹 (ネック)	メイプル
胴	スプルース / メイプル
指板・糸巻き	エボニー
駒 (ブリッジ)	メイプル (センサー内蔵タイプ)
フレーム	合成樹脂
テールピース	SV250 : アジャスター 4 ピース付 (Wittner) SV255 : アジャスター 5 ピース付 (Wittner)
弦	ボールエンドタイプ・バイオリン弦 (Zyex) * SV255 の 5 弦のみ Helicore
センサー	駒下配置方式ピエゾピックアップ、駒内蔵式ピエゾピックアップ
電源	付属コントロールボックスから供給
弦長	328mm
寸法	SV250 : 591(L)×206(W)×117(H) mm SV255 : 600(L)×206(W)×122(H) mm
重量	SV250 : 約 500g (楽器本体のみ) SV255 : 約 540g (楽器本体のみ)
コントロール	PICKUP BLEND

## ■コントロールボックス部

外装	アルミニウム合金他
操作部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ LINE OUT VOLUME</li> <li>・ TREBLE CONTROL</li> <li>・ BASS CONTROL</li> <li>・ PHONES VOLUME</li> <li>・ GROUND LIFT スイッチ</li> <li>・ BALANCED OUT PAD スイッチ</li> </ul>
入出力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 楽器接続ジャック (入出力、主電源スイッチ兼用)</li> <li>・ PHONES ジャック (出力、PHONES アンプ電源スイッチ兼用)</li> <li>・ LINE OUT ジャック (φ6.3 アンバランス出力)</li> <li>・ BALANCED OUT ジャック (XLR バランス出力)</li> <li>・ 電源アダプタージャック (DC12V)</li> </ul>
電源	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電池 : 単 3 乾電池 (R6/LR6) × 2 本</li> <li>・ 電源アダプター (別売) : Yamaha PA-3C (日本でご使用の場合)、PA130 (海外でご使用の場合)、DC12V/700 mA </li> <li>・ ファンタム電源 : 28-48V</li> </ul>
消費電力	2.6W (PA3C 使用時)、1.1W (PA130, PA130A 使用時)、1.2W (PA130B 使用時)
電池寿命 (連続使用時間)	マンガン乾電池 : イヤホン使用時 : 約 15 時間、未使用時 : 約 45 時間 アルカリ乾電池 : イヤホン使用時 : 約 50 時間、未使用時 : 約 120 時間
寸法	142 (L) × 72 (W) × 49 (H) mm 127 (L) × 72 (W) × 36 (H) mm (突起部含まず)
質量	約 260g (付属乾電池含まず)

## ■付属品

接続ケーブル、ケーブルバンド × 2、ステレオインナーフォン、取扱説明書 (本書)

※ 製品の規格および仕様は、改良の際、予告なく変更する場合があります。





**ヤマハ株式会社**

WT66620 版次: 1502 R1 Printed in Japan

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1